



鎮西大社
諏訪神社

この地で受け継がれし「諏訪神事」をこの手で守り、次の世代へ

【奉賛募金概要】 奉賛募金実施期間 令和8年1月より3カ年
事業予算 5億円(御本殿 2.2億円・社務所 2.2億円・その他 6千万円)
奉賛募金目標 3.5億円

```

graph LR
    A[お申し込み  
申込書のご記入] --> B[現金奉納  
銀行振込]
    B --> C[お礼状  
記念品の送付  
またはお渡し]
    C --> D[竣工式典の  
ご案内]
  
```

The flowchart illustrates the process from application to the completion ceremony. It starts with 'お申し込み' (Application) and '申込書のご記入' (Filling out the application form). This leads to '現金奉納' (Cash offering) and '銀行振込' (Bank transfer). These payment methods lead to 'お礼状' (Letter of appreciation), '記念品の送付' (Delivery of commemorative items), or 'お渡し' (Handover). Finally, the process concludes with '竣工式典のご案内' (Guidance for the completion ceremony).

1. 申込書、趣意書は諏訪神社で配布しています。(遠方の方には郵送します)
2. 申込書は、諏訪神社ホームページからダウンロードすることができます。印刷してご利用下さい。
3. 御礼状・領収証・記念品等送付のため、お申し込み時に芳名・ご住所・電話番号のご記入をお願いいたします。
4. 奉賛金は、現金か銀行振込でお願いいたします。

振込先は受付フォーム入力後、自動返信メールでお知らせします。

5. 神社へ直接奉納いただく場合は、おふだ所をお尋ね下さい。

【奉賛謝意】 奉賛額により以下の謝意を表します。

奉 賛 額	5千円以上	1万円以上	5万円以上	10万円以上	50万円以上	100万円以上	500万円以上	1,000万円以上
記 念 品	記念品A贈呈		記念品B贈呈		特別記念品A贈呈		特別記念品B贈呈	
感 謝 状						感謝状贈呈		
竣工式典					御招待			
芳名掲出			境内に芳名を掲示いたします					

吉村 政徳	松藤 章喜
森 拓二郎	石丸 利行
嶋崎 真英	池田 久美子
西 亮	東 晋
山口 雅二	柴田 龍雄
安達 健太郎	本田 徳光
石丸 忠重	福田 浩久
殿村 育生	吉田 昌敬
坂本 卓也	松永 安市
中川 重吾	宮城 直泰
中村 重敏	山口 哲治
安達 栄太	浦 皓
川添 弘之	福田 慎右
村本 營介	石谷 忠善
開地 龍太郎	江崎 淑夫
菅 弘史郎	小野原 卓嗣
坂井 崇俊	白川 広
吉田 浩	河原 廣行
荒木 健治	小崎 修三
内野 栄一郎	松下 隆
藤岡 秀則	開田 好治
鈴木 茂之	江口 英雄
中島 典明	渡辺 秀孝
村木 昭二郎	坂本 隆司
川添 暢也	橋本 清
谷川 喜一	原 孝幸
中川 安英	美根 晴幸
栗山 次郎	牧 文春
森田 誠	西 英一郎
小林 秀顕	宮田 文嗣
船橋 修一	吉澤 稔

【事務局】※ご不明な点は、奉賛会事務局へお問い合わせ下さい。

鎮西大社 諏訪神社 御鎮座四百年記念事業奉賛会 <https://www.osuwasan.jp>

〒850-0006 長崎市上西山町18番15号 TEL:095-824-0445 FAX:095-821-9377



ホームページ

鎮西大社 諏訪神社
御鎮座四百年記念事業

奉賛会役員名簿

奉賛募金趣意書

諏訪神社は寛永2年(1625年)初代宮司青木賢清により、諏訪・住吉・森崎の神々をお祀り申し上げ、長崎の産土神として現在の松森神社の地に創建され、慶安元年(1648年)徳川幕府より朱印地を得て、現在地に鎮西無比の荘厳な社殿が御造営されました。

安政4年(1857年)不慮の火災に遭い、社殿の殆どを焼失しましたが、孝明天皇の思召により、10年余の歳月をかけて明治2年(1869年)以前にも勝る社殿が再建され、更に昭和59年(1984年)御鎮座三六〇年祭、平成6年(1994年)三七〇年祭を記念して、二度の御改修を重ね現在の社殿及び境内が整えられました。

さて、本年令和7年(2025年)は御鎮座四百年という大きな節目となる佳節を迎えました。当奉賛会としては、長崎の先人たちがこの地で受け継いできた長崎くんちを始め「諏訪神事」の舞台となる社殿及び境内の再生と神社の発展を図り、次の世代に繋げるため、心をつなぐ氏子総代を始め神社関係者により、御鎮座四百年記念事業奉賛会を立ち上げました。記念事業として、明治2年に御造営され、将来文化財になり得る御本殿、並びに、おふだ所祈願待合所・社務所の御改修を柱といたしました。

「御本殿」は、神々がお鎮まりになられる神殿であり、御屋根・神具等の御改修を施し、より「層格調高く神々しい御本殿」として再生し、「おふだ所祈願待合所・社務所」は、参拝者の皆様が利用しやすい機能を備え、且つ今の時代に即応した体制を整えたいと考えております。

つきましては、記念事業の趣意を、賢察賜りまして皆様方の「賛同の志にあずかり、格別の思召しを以て奉賛金の御寄進を賜りたく、茲に謹んでお願い申し上げます。

令和七年十二月一日

鎮西大社 諏訪神社 宮司 吉村 政徳
鎮西大社 諏訪神社 森 拓二郎
御鎮座四百年記念事業奉賛会 会長



御鎮座四百年 記念事業

1 御本殿の御改修

- 御本殿内及び外壁等の修理
- 御屋根の修理
- 装飾品の修理及び新調



お守りいただき
お参りいただき
四百年分の
ありがとう

2 社務所1階授与所・事務所(応接室含む)

3階第2授与所の拡張新設及び

正面階段等の欄干の取り替えと参集殿(付属トイレ含む)の改装

- おふだ所及び参集殿は、近代的かつ機能性を高めた施設とする。
- 待合所のトイレの全面改修を始め、授乳室完備、空調設備の改善
- 拝殿横の3階おふだ所を拡張し、繁忙期などに常設のおふだ所として使用する。



3 記念事業記念誌・宝物古文書図鑑等の刊行

